

Your Ref: 07844-413JP1
Our Ref: PA974

**Translation of Selected Portions of
Pat. Laid-open Official Gazette**

Appln. No: 9-27470
Appln. Date: February 12, 1997
Laid-open Pub. No: 10-222499
Laid-open Pub. Date: August 21, 1998

Inventor(s): Hitoshi Ono, Hiroyuki Kaji, Hiroshi
Yamamoto & Hitoshi Sasaki
Applicant(s): Toppan Printing K.K.
Attorney(s): --

1. Title of the Invention

ORIGINAL PRODUCING APPARATUS AND A COMPUTER READABLE
RECORDING MEDIUM RECORDING AN ORIGINAL PRODUCING
PROGRAM

2. Claims

(omitted)

3. Detailed Description of the Invention (Selected Portions)

1)

(omitted)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-222499

(43)公開日 平成10年(1998) 8月21日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/21

G 0 6 F 15/20

5 3 8 M

G 0 6 T 11/80

15/62

3 2 0 K

3 2 2 M

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平9-27470

(22)出願日 平成9年(1997) 2月12日

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 大野 仁

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 梶 広幸

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 山本 宏

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

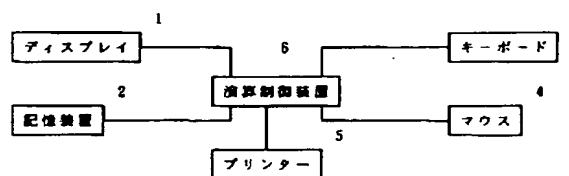
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 台割制作装置並びに台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57)【要約】

【課題】 カタログ等を作成する際に紙面に最適なデータ領域制作及びレイアウトができる台割制作装置並びに台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とするものである。

【解決手段】 カタログやチラシ等の紙面を作成するに際して、商品等に関する画像データ、文字データ等からなる素材データを割り付けるためのデータ領域からなる台割を作成するものであって、素材データ等を表示する表示手段 a と、素材データを割り付けるためのデータ領域の範囲を設定するグリットを作成するグリット制作手段 b と、グリットに従ってデータ領域を設定する領域設定手段 c とを具備してなることを特徴とする台割制作装置および台割を作成するプログラムを記録したコンピュータで読み取り可能な記憶媒体である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、商品等に関する画像データ、文字データ等からなる素材データを割り付けるためのデータ領域からなる台割を制作する台割制作装置であって、

前記素材データ等を表示する表示手段と、

前記素材データを割り付けるためのデータ領域の範囲を設定するグリットを制作するグリット制作手段と、

前記グリットに従って前記データ領域を設定する領域設定手段と、を具備してなることを特徴とする台割制作装置。

【請求項2】カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、商品等に関する画像データ、文字データ等からなる素材データを割り付けるためのデータ領域からなる台割を制作する台割制作装置であって、

前記素材データ等を表示する表示手段と、

前記領域設定手段により設定されたデータ領域をデータベースとして記録する記憶手段と、

前記記憶手段からデータ領域を選択する選択手段と、を具備してなることを特徴とする台割制作装置。

【請求項3】前記領域設定手段により設定、あるいは前記選択手段により選択されたデータ領域に、前記素材データを割り付ける割り付け手段を具備してなることを特徴とする請求項1または請求項2記載の台割制作装置。

【請求項4】カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、コンピュータによって画像データや文字データ等からなる素材データを割り付けるデータ領域からなる台割を制作するための制作制御プログラムを記録した媒体であって、

制作制御プログラムは前記素材データを割り付けるデータ領域の範囲を設定するグリットを制作させ、前記素材データが割り付けられる領域を前記グリットにより設定させることを特徴とする台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項5】カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、コンピュータによって画像データや文字データ等からなる素材データを割り付けるデータ領域からなる台割を制作するための制作制御プログラムを記録した媒体であって、

設定されたデータ領域をデータベースとして記録させ、前記データベースからデータ領域を選択させることを特徴とする台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項6】設定されたデータ領域、あるいは選択されたデータ領域に前記素材データを割り付けさせることを特徴とする請求項4または請求項5記載の台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一つの紙面に多数の商品や店舗等を掲載するカタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、紙面に掲載される商品等の写真や文章を割り付ける（配置）データ領域からなる台割を制作する台割制作装置、並びにコンピュータに前記台割を制作させるプログラムを記録したコンピュータに読み取り可能な媒体に関するものである。

【0002】さらに、写真や文章を割り付ける機能も有した台割制作装置、並びにコンピュータにより写真や文章を割り付けるプログラムを記録したコンピュータに読み取り可能な媒体に関するものである。

【0003】

【従来の技術】近年、カタログ、雑誌等の書籍やチラシ等を制作する際に、これらの紙面のレイアウト及びデザインをコンピュータを用いたディスプレイの画面上で行う場合がある。前記画面上での紙面のレイアウト作業は、例えば、以下のようなものであった。

【0004】まず、前記紙面に掲載される商品等の説明（商品の性能や価格等を含めて以下にスペックと記載する場合がある）や記事や写真等を文字データや画像データとして予めコンピュータの記憶装置に入力する。次に、コンピュータのディスプレイの画面上に台割を構成する紙面領域を表示し、この紙面領域に複数の文字データや画像データを掲載するために、前記紙面領域内を紙面に掲載される商品に対応した複数のデータ領域に分割する（構成台割の制作）。

【0005】そして、前記データ領域のそれぞれにおいて、前記画像及び文字データの配置位置を決める（サムネイルの制作）。そして、前記記憶装置から呼び出した画像データや文字データを決められた配置位置に割り付けることによって、紙面のレイアウトが行われる。

【0006】また、紙面の制作は、単に前記画像データや文字データを前記紙面に割り付けてレイアウトを行うだけでなく、画像データの写真を商品の外周に沿って切り抜いた切り抜き写真とした場合に、そのバックに色を付けたりするデザイン作業がある。そして、制作された紙面をもとに、ハードコピーを出力したり、印刷用のフィルムを制作し、印刷工程で印刷される（初校の制作）。

【0007】このようなコンピュータによる作業やデザイン作業は、主にコンピュータのデスク・トップ・パブリッシング（DTP）機能を用いて行われるものである。また、コンピュータで上記作業を行っているために、各工程の間のデータの受け渡しは全てデジタルデータにより行われることとなる。

【0008】なお、カタログやチラシ等に掲載されている商品の販売量は、掲載商品のレイアウトに影響されるために、紙面のレイアウトはデザイン性が高く複雑なものとなる傾向にある。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述したように、画像データや文字データの配置を考慮して割り付ける紙面領域を分割するデータ領域を制作する作業は、コンピュータを用いることにより省力化されたとはいえ、極めて手間のかかる作業であった。さらに、デザイン性の高い紙面を制作するために必要となる台割は、コンピュータでは制作しずらく手作業で台割を制作することが多く作業の効率を上げることができず、紙で制作された台割をコンピュータで用いられるデジタルデータ変換することは困難であり、データを工程間の受け渡す際の障害となっていた。

【0010】また、データ領域に画像データや文字データを割り付ける作業も、個々に画像データや文字データをそれらの配置を考慮して割り付ける作業を行うもの、コンピュータを用いることにより省力化されたとはいえ、極めて手間のかかる作業であった。

【0011】本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、カタログ等を制作する際に使用される台割の制作作業、および素材データのレイアウト作業の簡略化を図ることで、紙面に最適なデータ領域制作及びレイアウトができる台割制作装置並びに台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とするものである。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1に記載された台割制作装置は、カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、商品等に関する画像データ、文字データ等からなる素材データを割り付けるためのデータ領域からなる台割を制作するものであって、前記素材データ等を表示する表示手段aと、前記素材データを割り付けるためのデータ領域の範囲を設定するグリットを制作するグリット制作手段bと、前記グリットに従って前記データ領域を設定する領域設定手段cとを具備してなることを前記課題の解決手段とした。

【0013】また、請求項2に記載された台割制作装置は、カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、商品等に関する画像データ、文字データ等からなる素材データを割り付けるためのデータ領域からなる台割を制作するものであって、前記素材データ等を表示する表示手段aと、前記領域設定手段cにより設定されたデータ領域をデータベースとして記録する記憶手段dと、前記記憶手段からデータ領域を選択する選択手段eとを具備してなることを前記課題の解決手段とした。

【0014】また、本発明の請求項3には、前記領域設定手段cにより設定、あるいは前記選択手段eにより選択されたデータ領域に、前記素材データを割り付ける割り付け手段fを具備してなることを具備してなることを前記課題の解決手段とした台割制作装置が記載されている。

【0015】また、本発明の請求項4に記載されたコン

ピュータ読み取り可能な記憶媒体は、カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、コンピュータによって画像データや文字データ等からなる素材データを割り付けるデータ領域からなる台割を制作するための制作制御プログラムを記録した媒体であって、該制作制御プログラムは前記素材データを割り付けるデータ領域の範囲を設定するグリットを制作させ、前記素材データが割り付けられる領域を前記グリットにより設定させることを特徴とするプログラムを前記課題を解決するものとした。

10 【0016】また、本発明の請求項5に記載されたコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、カタログやチラシ等の紙面を制作するに際して、コンピュータによって画像データや文字データ等からなる素材データを割り付けるデータ領域からなる台割を制作するための制作制御プログラムを記録した媒体であって、設定されたデータ領域をデータベースとして記録させ、前記データベースからデータ領域を選択させることを特徴とする前記課題を解決するものとした。

20 【0017】また、本発明の請求項6には、設定されたデータ領域、あるいは選択されたデータ領域に前記素材データを割り付けさせることを特徴とする上記台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面を参照して説明する。図1および図2は、本発明の台割制作装置の概略を説明するための機能ブロック図である。また、図3ないし図12は、本発明の台割制作装置による台割制作作業を説明するための後述するディスプレイ1の画面を示す図面である。図13ないし図15は、本発明の台割制作装置の流れを示すフローチャートである。

【0019】なお、本実施の形態で説明する本発明の台割制作装置の一例は、一つの紙面に多数の商品の写真や説明文が掲載されるカタログやチラシ等の台割を制作する機能と共に、制作した台割に画像データや文字データを割り付ける機能を有するものとする。

【0020】そして、前記台割制作装置は、まず、実際に画像データや文字データを紙面領域に割り付けるために、前記紙面領域を多数に分割しデータ領域を制作することにより台割を制作する。次いで、前記紙面領域にタイトルを挿入するための領域を設定すると共に、一つのデータ領域の中に割り付けられる商品の写真とスペックの位置関係を決め、各データ領域内に写真を貼り付ける領域（画像領域）とスペックを貼り付ける領域（文字領域）を設定し（サムネイルの制作）、その後、各データ領域においてバックとなる色を割り付けたり、画像領域や文字領域を区切る罫線を引いたり、各画像領域や文字領域に実際の写真や文字のデータや、ダーミーのデータを割り付けたりする（ラフ、初校の制作）ものである。

【0021】すなわち、本発明の台割制作装置は、今まで、手作業で行っていた複雑な台割の制作を簡単な指示を与えるだけで容易に制作できると共に、制作した台割データに文字データや画像データを割り付けラフを制作することができ、該ラフを印刷用のフィルム等として出力することにより、そのままのカatalogの紙面の初校として利用することができようにしたものである。

【0022】図2に示すように、この実施の形態に示される台割制作装置は、紙面領域、データ領域、画像領域、文字領域等を表示すると共に、実際の紙面と同様な画像や文字や罫線や色を紙面領域内に表示するための表示手段となるディスプレイ（CRT）1と、台割上の領域を設定するためのグリットのパターンからなるグリットパターンデータベース及びデータ領域のパターンからなるデータ領域データベースと共に、割り付けられるべき文字データや商品等の画像データを記憶するための記憶手段となるハードディスク等からなる記憶装置2と、データ領域制作中やレイアウト作業中に文字や数値を入力するための入力手段、及びデータ領域制作中やレイアウト作業中に台割制作装置に指示を与える指示手段となるキーボード3と、データ領域制作中やレイアウト作業中に台割制作装置に指示を与えたり、ディスプレイ1上のメニュー画面から台割制作装置に与える指示を選択したりする指示手段となるマウス4と、台割制作結果やレイアウト結果等をハードディスクするための出力手段となるプリンター5と、台割制作作業やレイアウト作業に係わる演算・制御を行うCPUからなる演算制御装置6とからなるものである。

【0023】前記ディスプレイ1、キーボード3、マウス4、プリンター5等は、周知のワークステーション等のコンピュータシステムで用いられるものである。また、前記プリンター5には、印刷の原版となるフィルムの出力装置等も含まれるものとする。

【0024】前記記憶装置2には、データ領域の範囲を設定する際に使用される、紙面を分割しているグリットのパターンがグリットパターンデータベースとして記憶されている。さらに、前記グリット線により囲まれた範囲により設定されたデータ領域がデータ領域パターンデータベースとして記憶されている。また、商品等の画像データや文字等の文字データも記憶されている。

【0025】また、グリットパターンデータベースにおけるグリット9とは、グリット線8に囲まれ矩形の領域である。前記グリット線8は台割の紙面7の縦横に直線状に設けられている。グリット線の太さ及び間隔は任意であり、データ領域の設定状況により変化するものである。

【0026】以下、台割制作作業及びレイアウト作業を具体的に説明する。なお、台割制作作業及びレイアウト作業とも一人の作業オペレータがおこなっても、数人の作業オペレータが分担しておこなってもよいものである。

なお、効率を上げるためには上記作業は、分割して行われることが多くなっている。

【0027】（1）グリットの制作作業を詳しく説明する。まず、記憶装置2に記憶されている台割データのデータベースから使用する台割用紙を選択し、ディスプレイ1に台割の紙面7を表示する。なお、台割データを記憶装置2から読み出さず、台割をスキャナ（図示せず）に読み込み記憶装置2に記憶させると共に、ディスプレイ1に紙面7を表示させることもできる。

【0028】次いで、グリットを設定するための指示画面（コマンド）をディスプレイ1に表示させる（図3参照）。次いで、オペレータがグリットの間の距離、グリットの太さ、ヘッダー、フッター等のグリットを決定するための設定を行う。なお、通常、グリットを設定するグリット線8は縦横とも直線状である。

【0029】次いで、設定したグリットが指示書と異なる場合は、修正を行う。次いで、グリットを修正し終わった場合は、ディスプレイ1に表示させる（図4参照）と共に、記憶装置2にグリットを記憶させる。また、図3のように指示画面（コマンド）が一つ一つ指定するのではなく、図5に示されるように一括した指示画面（コマンド）を用いることもできる。

【0030】上述した方法により設定されたグリット9は、台割用紙対応してグリットの大きさ、形状、また、グリット線の太さ、間隔等の設定条件毎にパターン化し、グリットパターンデータベースとして記憶装置2に記憶する。データベースとして記憶装置2に記憶することにより、作業の開始時にグリットを制作する必要はなくなり、作業効率を向上させるばかりでなく、間違ったグリットを制作することがなくなる等の効果を得ることができる。

【0031】もし、記憶装置2に記憶されたグリットと制作したグリットが同一の場合は、新しく制作されたグリットに記憶装置2に記憶されたグリットを置き換えるという命令を演算制御装置6にしておくこともできる。また、グリットは上記のようにグリット線だけでなく、台割の紙面の任意の位置を原点として、グリット9を座標により設定することもできる。

【0032】（2）データ領域の設定方法を詳しく説明する。まず、記憶装置2から制作する台割に対応するデータを選択し、ディスプレイ1に表示する（図4参照）。ディスプレイ1に表示された紙面にはグリット9が設けられている。

【0033】次いで、データ領域を設定するためのグリットを、図6の斜線部のようにマウス4、キーボード3により確定する。また、ディスプレイ1上で直接データ領域の範囲を設定せずに、座標を用いて設定することもできる。

【0034】次いで、データ領域の設定をおこなうための指示画面（コマンド）をディスプレイ1に表示する

(図7参照)。次いで、作業オペレータが指示書等に従って、データ領域の設定、均等、分割、間隔設定、統合等の指示を行う。この際、設定したデータ領域に文字データまたは画像データが割り付けられるかを示す用に印を設定することができる。上述したデータ領域設定作業により、データ領域が図8、図9に示されるように設定される。データ領域が設定されることにより台割が設定されたこととなる。

【0035】次いで、設定が終了した台割は記憶装置2に記憶される。また、データ領域を設定したデータをパターン毎に記憶しデータ領域データベースを制作し記憶装置2に記憶することにより、次回、データ領域を設定する際に使用することができ、データ領域作業の効率を向上させることができる。

【0036】また、あるデータ領域に異なる色を設ける場合の説明を行う。設定を行う場合は、まず、記憶装置2から設定する台割データを選択しディスプレイ1に表示する。次いで、データ領域を設定するための範囲のデータ領域を、図10の斜線部のようにマウス4、キーボード3により確定する。また、ディスプレイ1上で直接データ領域の範囲を設定せずに、座標を用いて設定することもできる。

【0037】次いで、データ領域の設定をおこなうための指示画面(コマンド)をディスプレイ1に表示する

(図11参照)。次いで、作業オペレータが指示書等に従って、色の設定をする。この色設定作業により、データ領域が図12に示されるように設定される。

【0038】なお、上述した処理を行われた各データ領域には、データ領域を示すデータがデータ領域毎に特有の情報が設けられている。データ領域に設けられたデータは、データ領域に画像データや文字データを割り付ける際に使用されるものである。

【0039】(3)レイアウト作業を説明する。まず、上述した処理が行われたデータ領域が設定された台割データを記録している記憶装置2から、今回、画像データや文字データを割り付ける台割データを選択する。

【0040】次いで、記憶装置2から台割に貼り付ける画像データや文字データを選択し、データ領域に割り付ける。また、割り付ける際には、画像データの大きさや文字データの色等の処理を行うこととなる。次いで、画像データや文字データを割り付けた台割をプリンター5により、ハードコピーやカラーカンパ等に出力することにより構成等を行い、カラーカンパ等の校正が行われ、認証が行われるまで再度上記処理工程及び校正を行い、校正が行われなくなったことにより、本工程は終了する。

【0041】本発明の台割台割制作装置の作業の流れを、図13、図14及び図15に示されたフローチャートを用いて具体的に説明する。

【0042】ステップ101(S101) まず、指示書

等に従って本作業で台割を制作する用紙を選択し、ディスプレイ1に紙面7を表示する。

ステップ102(S102)

次いで、グリットを用いてデータ領域を設定することにより台割を制作する。この台割制作作業は、具体的に説明をする必要があるので、図14に示されたフローチャートを用いて説明をする。

【0043】ステップ201(S201)

まず、記憶装置2に記憶されているグリットパターンデータベースからステップ101で選択された台割に対応するグリットを選択し、図4に示されているようにディスプレイ1に表示する。なお、上記のようにグリットを記憶装置2から選択せずに、図3や図5の指示画面(コマンド)を用いて、グリットを制作することもできる。

【0044】ステップ202(S202)

次いで、画像データや文字データを割り付けるデータ領域を設定するための範囲を、マウス4やキーボード3により設定する(図6参照)。

【0045】ステップ203(S203)

次いで、データ領域の設定、均等、分割、間隔設定、統合等の指示を図7に示されたような指示画面(コマンド)を用いて指示する。

【0046】ステップ204(S204)

次いで、データ領域が設定され制作された台割データの面積積分の検査及び指示書等と対応させ、データ領域が正しく設定されている場合はステップ5は本工程は終了し、データ領域が正しく設定されていない場合はステップ202に移行し、再度データ領域の設定を行う。

【0047】ステップ103(S103)

次いで、上記ステップで制作されたデータ領域に文字データやラフ画像データを割り付ける。前記ラフ画像データとは、実画像の画像データを間引いたデータである。ステップ104(S104)

次いで、文字データやラフ画像データをディスプレイ1に表示またはプリンター6により出力し、指示書と同一の構成をしているのかを検査する。指示書と同一の構成をしている場合はステップ105に移行し、台割に修正が必要な場合はステップ102に移行する。

【0048】ステップ105(S105)

次いで、実画像データとラフ画像データをすり替えて割り付けし、文字データを割り付け、レイアウトを終了する。このレイアウト作業は、具体的に説明する必要があるため、図15に示されたフローチャートを用いて説明する。

【0049】ステップ301(S301)

まず、台割の各データ領域に割り付ける文字データ及び実画像の画像データを選択する。

ステップ302(S302)

次いで、ラフ画像データと実画像データをすり替えると共に、データ領域に割り付ける。また、データ領域に文

10

20

30

40

50

字データを割り付ける。

【0050】ステップ303 (S303)

次いで、画像データや文字データを割り付けた紙面をディスプレイ1に表示あるいはプリンター5により出力し、正しく両データが割り付けられたかを検査する。正しくデータが割り付けられた場合は、この工程は終了としてステップ106に移行し、間違っ

【0051】ステップ106 (S106)

たいで、画像データや文字データが正しく割り付けられた紙面をプリンター5により、カラーカン

【0052】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の台割制作装置並びに台割制作プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、グリット線に囲まれるグリットの範囲指定により、容易に画像データや文字データを割り付けるデータ領域を設定することができるので、容易に台割をコンピュータ上で制作することができる。

【0053】また、常にコンピュータシステムのディスプレイ上でシュミレーションとして見ながら台割を制作することができるので、指示どおりの正しい台割の制作および画像データや文字データの割り付けを行うことができる。

【0054】また、作業工程で使用、伝達される情報が全てデジタルデータであるので、全ての工程にコンピュータシステムを使用することができるので、台割制作作業及びデータの割り付け作業の効率を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

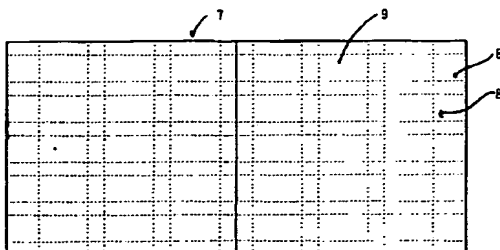
【図1】本発明の台割制作装置の概略を示すブロック図である。

【図2】本発明の台割制作装置の概略を示す機能ブロック図である。

【図3】本発明の台割制作装置のグリット制作作業に用いられる、グリット制作指示画面である。

【図4】グリットが設けられた台割の紙面の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図4】



【図5】グリット制作の際に用いられる、一括指示画面の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図6】データ領域が設定された際のグリットを示すディスプレイ表示画面である。

【図7】データ領域設定の際に用いられる、一括指示画面の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図8】データ領域が設定された状態の台割の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図9】データ領域が設定された状態の台割の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図10】データ領域に色を付ける場合に、色を変換させる設定された状態の台割の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図11】データ領域に色を付ける際に使用される指示画面の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図12】データ領域に色を付けた状態の台割の一例を示すディスプレイ表示画面である。

【図13】台割を制作すると共に、台割にデータをレイアウトする処理工程の流れを示すフローチャートである。

【図14】台割制作作業の処理工程の流れを示すフローチャートである。

【図15】データ割り付け作業の処理工程の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

- a・・・表示手段
- b・・・グリット制作手段
- c・・・領域設定手段
- d・・・記憶手段
- e・・・選択手段
- f・・・割り付け手段
- 1・・・ディスプレイ
- 2・・・記憶装置
- 3・・・キーボード
- 4・・・マウス
- 5・・・プリンター
- 6・・・演算制御装置
- 7・・・台割紙面
- 8・・・グリット線
- 9・・・グリット

【図5】

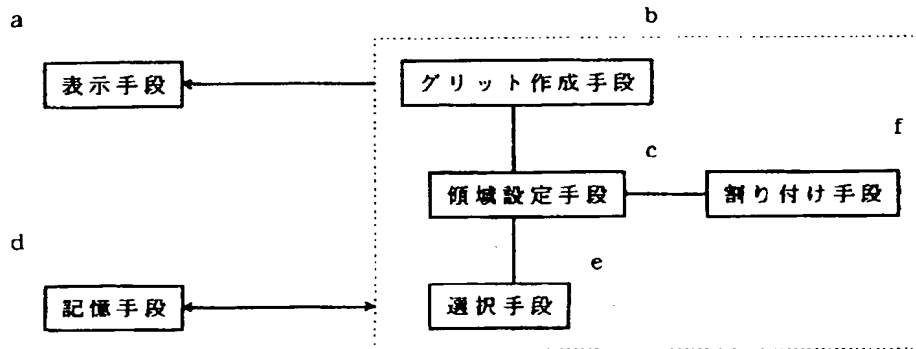
グリット均等分割

mmと mmの間を

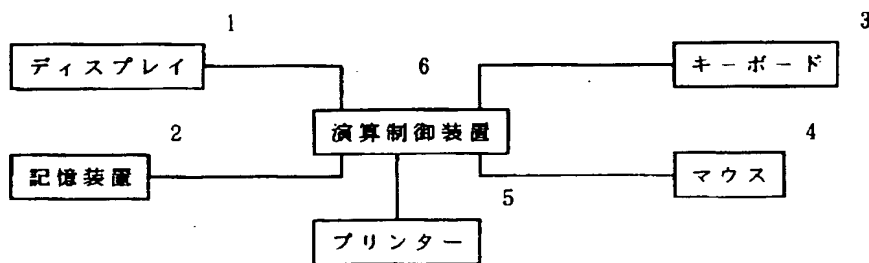
○分割線: 分割

○間隔: mm

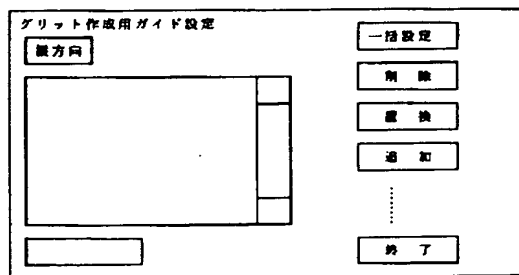
【図1】



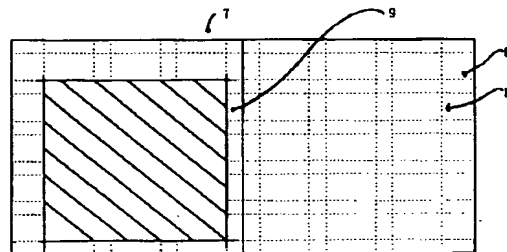
【図2】



【図3】



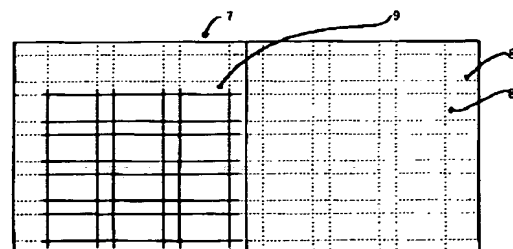
【図6】



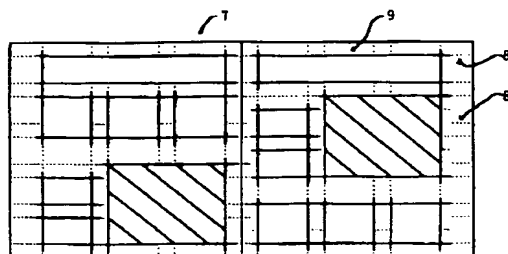
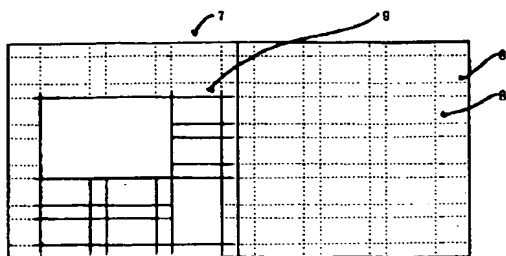
【図7】

Figure 7 is a screenshot of a software dialog box titled 'ボックス分割設定' (Box Division Setting). It contains two sections: '横方向' (Horizontal Direction) and '縦方向' (Vertical Direction). Each section has radio buttons for '均等分割' (Equal Division) and '任意分割' (Arbitrary Division), followed by a text input field and a '分割' (Divide) button. There are also radio buttons for '間隔設定' (Interval Setting) and a text input field followed by 'mm'.

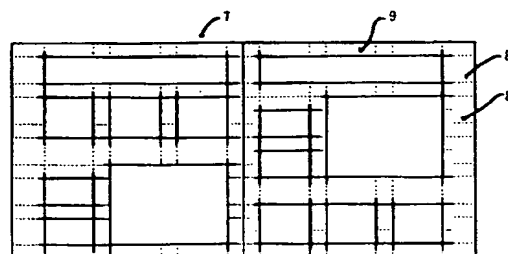
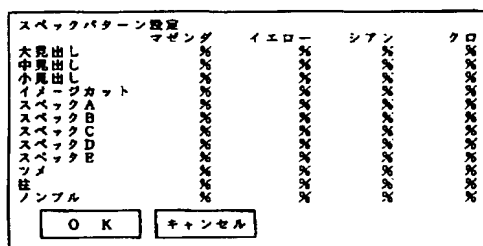
【図8】



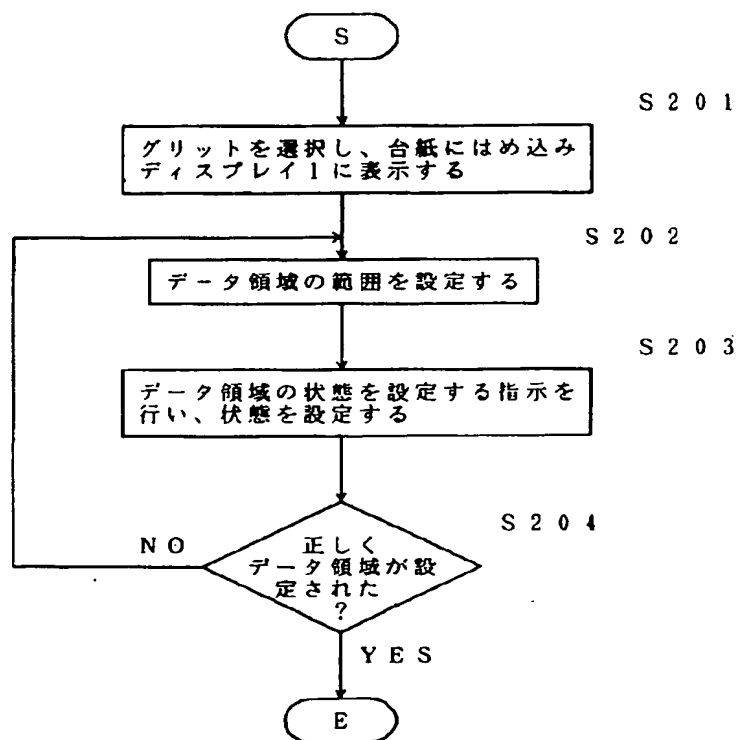
【图 10】



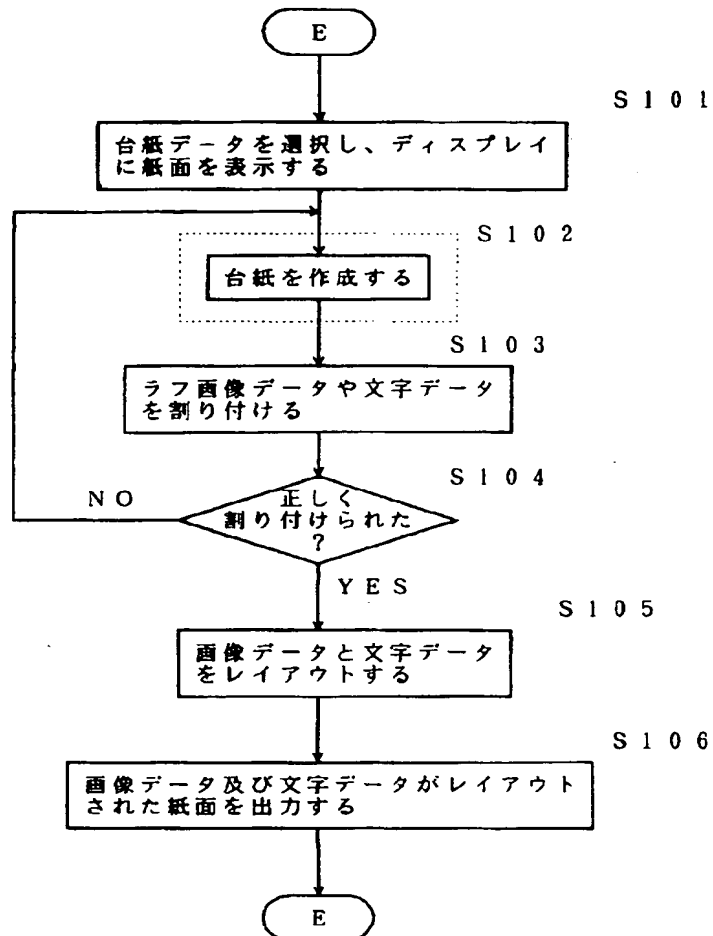
【图 1 2】



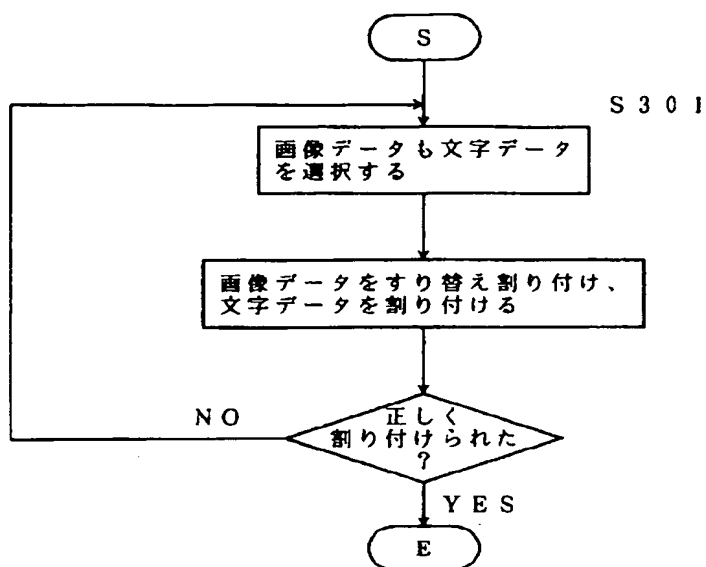
【图 14】



【図13】



【図 15】



フロントページの続き

(72)発明者 佐々木 仁
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印
刷株式会社内

** Result [Patent] ** Format(P803) 05.Jun.2003 1/ 1

Application no/date: 1997- 27470{1997/02/12}
Date of request for examination: [2000/12/11]
Public disclosure no/date: 1998-222499{1998/08/21}
Examined publication no/date (old law): []
Registration no/date: []
Examined publication date (present law): []
PCT application no
PCT publication no/date []
Applicant: TOPPAN PRINTING CO LTD
Inventor: ONO HITOSHI,KAJI HIROYUKI,YAMAMOTO HIROSHI,SASAKI HITOSHI
IPC: G06F 17/21 G06T 11/80 G06T 11/80
FI: G06F 15/20 ,538M G06F 15/62 ,320K G06F 15/62 ,322M
G06F 17/21 ,538M G06T 11/80 B G06T 11/80 D
F-term: 5B009NC01,NC02,NC07,TB03,5B050AA09,BA16,CA07,FA02,FA15,FA19,GA08
Expanded classification: 454,459
Fixed keyword:

Citation: [19,2002.12. 3,] (,JP, Unexamined Publication of Patent,H08-194832)

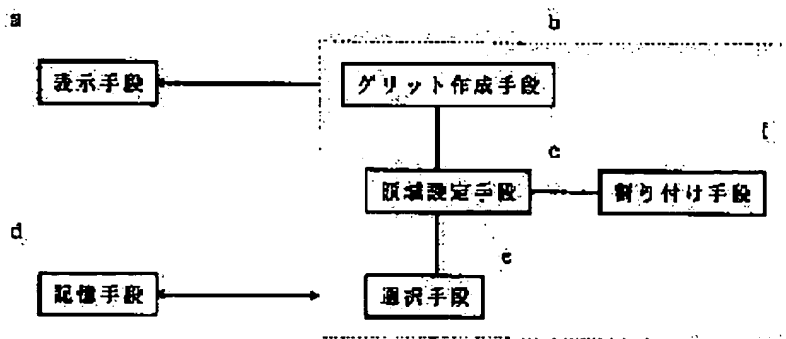
Title of invention: PRINT PLANNING DEVICE AND RECORDING MEDIUM WHICH CAN BE READ BY
COMPUTER RECORDING PRINT PLANNING PROGRAM

Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To generate and lay out an optimum data area on a space at the time of printing a catalogue by generating a grit setting the range of the data area for allocating material data and setting the data area in accordance with the grit.

SOLUTION: A display means (a) displaying material data or the like, a grit generation means (b) generating the grit where the range of the data area for allocating material data is set and an area setting means (c) setting the data area in accordance with the grit are provided. Thus, device and a recording medium which can be read by a computer recording a print planning program set the data area to which picture data and character data are allocated by designating the range of the grit surrounded by a grit line. Thus, print planning is easily made by the computer.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



Priority country/date/number: () [] ()
 Classification of examiners decision/date: () []
 Final examinational transaction/date: () []
 Examination intermediate record:
 (A63 1997/ 2/12,PATENT APPLICATION UTILITY MODEL REGISTRATION APPLICATION,21000:
)
 (A961 1997/ 2/18,CORRECTION DATA BY EX OFFICIO (FORMALITY), :)
 (A621 2000/12/11,WRITTEN REQUEST FOR EXAMINATION,96300:)
 (A861 2001/11/20,WRITTEN REQUEST FOR INSPECTION (PUBLIC INSPECTION)OF FILE RECORD
 MATTERS, :)
 (A9710072002/12/ 3,WRITTEN REPORT OF RETRIEVAL, :)
 (A9710112002/12/ 3,SITUATION LIST OF UTILIZATION OF OUTSIDE AGENCY FOR SEARCHING
 PATENT INFORMATION, :)
 (A131 2002/12/10,WRITTEN NOTICE OF REASON FOR REJECTION, :)
 (A53 2003/ 2/ 7,WRITTEN OPINION, :)
 (A523 2003/ 2/ 7,WRITTEN AMENDMENT, :)

 *** Trial no/date [] Kind of trial [] ***
 Demandant: -
 Defendand: -
 Opponent: -
 Classification of trial decision of opposition/date: () []
 Final disposition of trial or appeal/date: () []

Trial and opposition intermediate record:

Registration intermediate record:

Amount of annuities payment: year

Lapse date of right: []

Proprietor: -